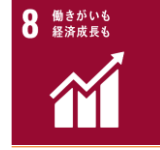


地域探究プログラムwith剣淵高等学校



【期日】 2024/7/10 ~ 2024/7/12
 【対象者】 北海道剣淵高等学校 2 学年未来のしんろコース
 【参加人数】 2

1. 趣旨

高校生が地域づくりや地域の課題解決などに関する体験活動をとおして、問題発見・解決能力を身に付け、新たな価値を創造する人材の育成に資する。

2. プログラム内容

日時	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
7/10 (水)			剣淵高校出発 移動		美瑛町の 景観を 学ぶ	昼食 移動	施設 到着	地域の魅力を知る① 講師 林和寛氏 (ココ企画)	ちいぶろ!ガイダンス オリエンテーション 宿舎入室		ゆーずびあタイム 夕食 入浴・自由時間		1日目 まとめ	自由時間 就寝準備		就寝
7/11 (木)	起床	さわやかタイム 朝食 活動準備	地域の魅力を知る② 講師 荒井啓史氏 (HERMIT)	移動	昼食 (あさひ町珈琲) 美瑛町内視察			畑DEフットパス ガイド 小倉博昭氏 (丘のまちびえいDMO)	移動		ゆーずびあタイム 夕食 入浴・自由時間		2日目 まとめ	自由時間 就寝準備		就寝
7/12 (金)	起床	さわやかタイム 朝食 活動準備 宿舎点検、退室	2日間のまとめ 剣淵町のために できること	施設 出発	移動 到着後解散											

3. 活動内容

①地域の魅力を知る①

講師 林和寛氏、若生木ノ葉氏
 情報誌を発行している企業の代表と社員を招き、地域の魅力をどのようにして見出し、発信していくのかを学んだ。



②地域の魅力を知る②

講師 荒井 智史氏
 廃棄パンを活用した地ビール製造を手掛ける企業の代表を招き、地域が持つ魅力を見出す視点の持ち方、どの層にPRして呼び込むかといった思考の持ち方を学んだ。



③畑DEフットパス

講師 小倉 博昭氏
 実際に提供されているツアーに参加し、町の特徴をガイドの形にどう落とし込むのかといった点や、自分達の町であればどう紹介ができるかといった視点をもった。



4. アンケート結果

質問：事業全体に対しての満足度をお答えください。（人）

たいへん満足	やや満足	やや不満	たいへん不満
2	0	0	0

5. 参加者の声

○自分の住む町に人を呼ぶこと、賑わいを作り出すことを大きな目標にしてきて、やみくもに呼ぼうとするのではなく、“どんな人に働きかけるか”といったことや“どうやってアピールするか”を具体的に考えて活動することが大切だと学ぶことができた。

○美瑛町の取り組みを見て、剣淵町ではどういった取り組みができるのかを考えることができた。美瑛町の方にアドバイスをいただき、町の特徴を発信するために実際に足を運んでPRの方法を考えたり、自分たちを含む若い年齢層が集まれるような企画を立てるといったアイデアが生まれたので、実現を目指して活動したい。

6. 事業の成果

・参加者は剣淵町に来てもらうことをテーマとして、美瑛町及びその近郊での地域振興に関わる企業や団体の活動の様子を学んだ。情報誌を発行する会社からは地域の魅力の見出し方や伝え方、地ビール生産者からは地域の特徴を魅力として発信する方法や発信する対象や方法をどのように決めていくかというマーケティング的な考え方を学んだ。また、町内のガイドを実際に受けることで、町のことを発信する上でどういった背景があって現在の形になっているのかという“ストーリー性”が大切だということに気づいた。

・2日間の学びを生かして、「来てもらう」という大きな目標から「来てもらうために何をしたら良いか」という具体性を伴った活動の計画を立てられるようになった。